



地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



小布施町  
「ナンジャモンジャ」の花

ここは「まちとしょテラス(小布施町立図書館)」。建物の傍らには、初夏というのに雪を被ったように真っ白な花を咲かせる不思議な木が立っています。この木は通称「ナンジャモンジャの木」。正式名は木犀(モクセイ)科の「一ツ葉櫛(ヒトツバタゴ)」といい、全国でも生育地域が限られるなかなかお目にかかれない木です。ところで「ナンジャモンジャ」とはその地域で見慣れない樹木の総称で、「一ツ葉櫛」はその代表格のようです。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「価格転嫁」③ ..... 6
- インタビュー「変革期の経営ビジョン」 ..... 9
- 北信濃の旅人(3) 河鍋暁斎③ ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



# 概況 全産業

## 生産は3カ月ぶりの低下 前年同月比は3カ月連続の上昇

### ◇2025年3月の長野県鉱工業指数

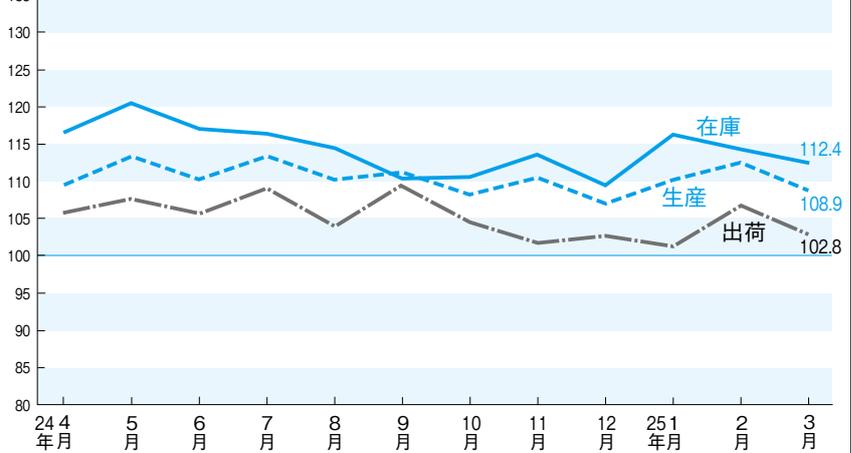
(速報：季節調整済指数)

生産は108.9(前月比▲3.2%)で3カ月ぶりの低下、出荷は102.8(同▲3.8%)で2カ月ぶりの低下、在庫は112.4(同▲1.5%)で2カ月連続の低下となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は116.6(前年同月比+2.2%)で3カ月連続の上昇、出荷は110.7(同▲2.6%)で2カ月ぶりの低下、在庫は111.0(同+3.4%)で3カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…化学、プラスチック製品、その他など8業種  
低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械など9業種
- [出荷] 上昇…金属製品、化学、その他など6業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、食料品など11業種
- [在庫] 上昇…化学、電気機械、情報通信機械など6業種  
低下…電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、その他など10業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高DI」は改善

#### ◇5月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前月比は、増加した企業が35.0%、不変が41.4%、減少

が23.6%となり、売上高DI(増加-減少)は+11.4となりました。前月調査時の+5.5から5.9ポイント改善しました。

#### ●売上高(生産高・施工高)前月比「増加・不変・減少」割合(%)

矢印は前月調査比 (3ポイント以上の動き) 増加 → 不変 ⇨ 減少  
改善 ↻ 不変 ⇨ 悪化 ↻

業種	前月	今月	改善	不変	悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上	
全産業	34.3 ↗	増加 → 35.0	36.9 ↘	41.4 ↗	23.6 ↘	28.8 →	200社	91.3%	70.5%	29.5%
製造業	29.4 ↘	増加 →	47.1 ↗	23.5 ↘	68社	90.7%	63.2%	36.8%		
建設業	33.8 ↗	増加 →	38.5 →	27.7 ↘	66社	95.7%	83.3%	16.7%		
卸小売業	31.8 →	増加 →	43.2 ↘	25.0 ↗	44社	91.7%	79.5%	20.5%		
サービス業	14.3 ↘	増加 ↗	57.1 ↗	28.6 ↘	7社	100.0%	57.1%	42.9%		
輸送業	77.8 ↗	増加 ↗	11.1 ↘	11.1 ↘	9社	90.0%	44.4%	55.6%		
外食業	70.0 ↘	増加 ↗	30.0 ↗	0.0 ↘	10社	100.0%	50.0%	50.0%		

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高DI」食料品、自動車部品が改善するも、全体は悪化

製造業の生産高前月比は、増加した企業が29.4%、不変が47.1%、減少が23.5%となり、生産高DIは+5.9となりました。前月調査時の+8.5から2.6が悪化しました。

### ●生産高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

業種	前月			今月		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少
製造業	37.1	34.3	28.6	29.4	47.1	23.5
食料品	43.8	56.2	0.0			
金属加工	21.4	42.9	35.7			
一般機械	0.0	50.0	50.0			
電気機械	0.0	60.0	40.0			
自動車部品	60.0	20.0	20.0			
精密機械	20.0	60.0	20.0			

【業種別】改善…食料品・自動車部品  
悪化…金属加工・一般機械・電気機械  
精密機械

【機械稼働】上昇企業の割合 (25.8%) → 25.8%  
低下企業の割合 (12.1%) → 21.2%  
機械稼働状況(前月比) 下降  
機械稼働率 (79.7%) → 77.1%

【受注状況】増加企業の割合 (22.1%) → 16.1%  
減少企業の割合 (13.2%) → 17.7%  
受注状況(前月比) 下降  
受注残高 (1.9ヵ月) → 2.0ヵ月

【受注基調】上昇企業の割合 (15.7%) → 20.6%  
下降企業の割合 (17.1%) → 20.6%  
受注基調(前月比) 横ばい

### 企業からのコメント

☆スーパー向け調味料OEMが好調で操業率が上がっている。6月からの商品の値上げを予定している。

☆★4月から値上げをする企業が多く、弊社も値上げを一部実施した。今のところ悪影響は出ていないが、想定よりも売上額は伸びていない。

★原料(りんご)の絶対量が少なく単価も高い。

(以上、食料品)

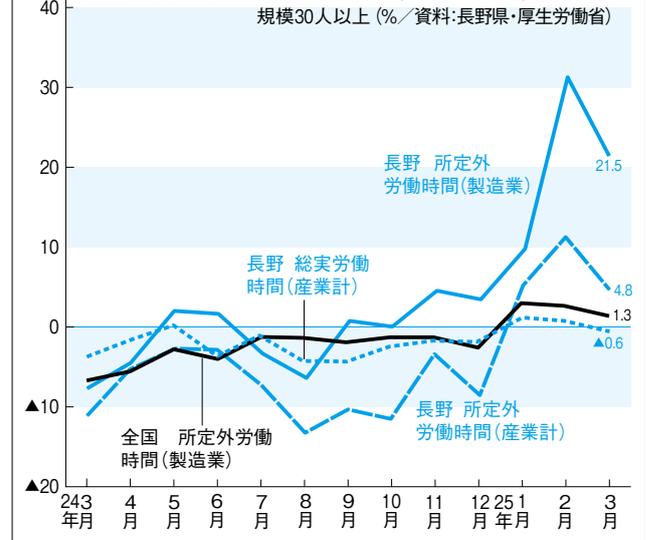
☆★国内向けスチール家具は各企業の買い控えのため減少。電子部品は車載部品中心に引続き横ばい状態。

(金属製品ほか)

☆★医療関連からの受注は安定しているが、他の業界は不透明である。

(機械器具)

### ●長野県の労働時間の動き<前年同月比>



# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高DI」総合建設、土木工事、建築が改善し、全体も改善

### 概況

建設業の施工高前月比は、増加した企業が33.8%、不変が38.5%、減少が27.7%となり、施工高DIは+6.1となりました。前月調査時の▲13.8から19.9まで改善しました。

#### ●施工高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

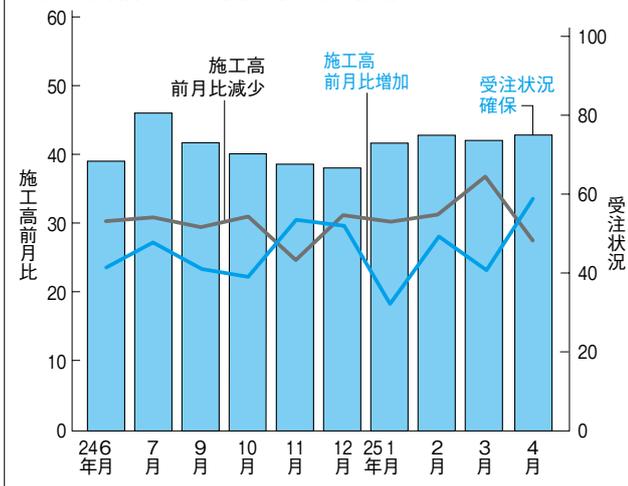
建設業	前月	23.1	40.0	36.9
	今月	増加 33.8	不変 38.5	減少 27.7
総合建設業		44.4	33.4	22.2
土木工事業		40.0	40.0	20.0
建築業		31.8	45.5	22.7
各種設備業		25.0	33.3	41.7

〔業種別〕改善…総合建設・土木工事・建築  
悪化…各種設備

〔受注状況〕「多い・適正」企業の割合(73.8%) → 75.0%  
「少ない」企業の割合(26.2%) → 25.0%  
受注高月商倍率(3.6カ月) → 3.6カ月

#### ●施工高前月比と受注状況の推移

(%/資料:当金庫)



### 企業からのコメント

☆★業界の動きが悪く苦戦している。物件数が少なく自社での営業では厳しいため、フランチャイズに加盟したり、今後の営業方法のあり方を考えていく必要あり。(総合建設)

☆★年内案件は低調である一方、事務所を中心としたリフォーム工事が増加している。利幅もあるため、利益率を重点とした営業を展開していく。(内装仕上)

### 4月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月の発注合計は、5,284.3億円(前年同期比+27.4%)となりました。前年比増加は「市町村」の1,965.9億円(同+154.5%)、「その他」の1,751.1億円(同+14.6%)、減少は「国」の1,319.0億円(同▲38.6%)、「県」の1,431.1億円(同▲12.3%)でした。

北信地区市町村の発注合計は1,298.1億円(同+392.9%)で、うち長野市は1,113.0億円(同+459.4%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2025年4月)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証(株))

		2025年4月	前年同月比
長野県	国	1,319	▲38.6%
	県	14,311	▲12.3%
	市町村	19,659	+154.5%
	その他	17,511	+14.6%
	合計	52,843	+27.4%
北信地区(内長野市)	市町村	12,981	+392.9%
	(内長野市)	11,131	+459.4%

### 4月の新設住宅着工戸数

長野県の4月の新設住宅着工戸数は859戸(前年同期比+7.6%)でした。持家が451戸(同▲10.3%)、貸家が265戸(同+48.0%)、分譲が132戸(同+15.8%)、給与が11戸(同+450.0%)です。

北信地区の4月の新設住宅着工戸数は205戸(同▲7.7%)でした。持家が93戸(同▲29.0%)、貸家が77戸(同+24.2%)、分譲が33戸(同+13.8%)、給与が2戸(同—%)です。

#### ●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数(2025年4月)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	4月	451戸	265戸	132戸	11戸	859戸
	前年同月比	▲10.3%	+48.0%	+15.8%	+450.0%	+7.6%
北信地区	4月	93戸	77戸	33戸	2戸	205戸
	前年同月比	▲29.0%	+24.2%	+13.8%	—	▲7.7%
	(内長野市)	28戸	75戸	18戸	0戸	121戸
	(前年同月比)	▲62.7%	+50.0%	▲14.3%	—	▲17.1%

## 卸小売業

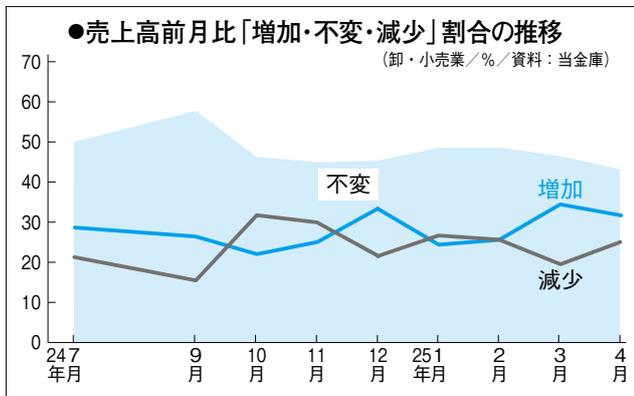
卸売業、小売業

### 「売上高DI」卸売は改善、小売は悪化

卸小売業の売上高前月比は、増加した企業が31.8%、不変が43.2%、減少が25.0%となり、売上高DIは+6.8となりました。前月調査時の+14.6から7.8ポイント悪化しました。

#### ●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前月	34.1	46.4	19.5
	今月	増加 31.8	不変 43.2	減少 25.0
卸売業		35.3	41.2	23.5
小売業		29.6	44.5	25.9



#### 【業種別】改善…卸売業、減少…小売業

4月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……113.2(前月比+0.4)

(前年同月比+3.4%)(44カ月連続プラス)

上昇…「家具・家事用品」「光熱・水道」「教養娯楽」

「被服および履物」「交通・通信」「住居」「諸雑費」

下落…「教育」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…112.6(前月比+0.7)

(前年同月比+3.5%)(45カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

☆★メディアが発信している情勢不安が消費者の購買心理を低下させ、実際に米の高値をはじめとする不安定要素が感じられる中、嗜好品の価値について戦略を考えたい。(菓子卸小売)

★物流コストの上昇が止まらない。生産量も減少しているため売上も減少している。(花鉢)

★米を中心とした食品の値上がりの反動で、衣料品は必要な物しか買わない傾向が見られる。(衣料品小売)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高DI」サービスは悪化、輸送、外食はともに改善

サービス業 売上高前月比は、増加した企業が14.3%、不変が57.1%、減少が28.6%となり、売上高DIは前月比34.3ポイント悪化の▲14.3となりました。

輸送業 売上高前月比は、増加した企業が77.8%、不変が11.1%、減少が11.1%となり、売上高DIは前月比44.5ポイント改善の+66.7となりました。

外食業 売上高前月比は、増加した企業が70.0%、不変が30.0%、減少が0.0%となり、売上高DIは前月比7.5ポイント改善の+70.0となりました。

観光(旅館)業 入込数は前月比8.2%の減少、前年同月比でも17.0%の減少となりました。

不動産業 需給状況の前月比は、「双方手控え・どちらも低調」計が23.7ポイント減少の42.9%、「引合いやや増加」が31.8ポイント増加の42.9%でした。

#### 企業からのコメント

☆長野駅前付近の家賃は上昇傾向にある。北石堂町の大型マンションの建設を控え、駐車場建設の提案等も増えている様子。(不動産)

★労働環境の改善、法的秩序の厳守、人手不足等により業務が遂行できない状況である。(運輸)

☆物価高等の影響もあってか、回数券の売上が増加している。(日帰り温泉)

#### ●売上高前月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前月	60.0	0.0	40.0
	今月	増加 14.3	不変 57.1	減少 28.6
輸送業	前月	44.4	33.4	22.2
	今月	77.8	11.1	11.1
うちタクシー業		100.0		0.0
うち運輸業		71.4	14.3	14.3
外食業	前月	75.0	12.5	12.5
	今月	70.0	30.0	0.0

価格転嫁が「できていない理由」

「値上げすると売れなくなる」が3割 「立場上、価格交渉がしづらい」が2割強

価格転嫁以外で「コスト増の対策」

「省エネに努めた」が3割 「生産性を向上」が3割弱

企業 アンケート 「価格転嫁」③  
2025年3月調査

価格転嫁が「できていない理由」

前号で「価格転嫁ができていない」と答えた39.2%の企業に「できていない理由」を聞きました。

「値上げすると売れなくなる」がトップで29.5%、以下「立場上、価格交渉がしづらい」が21.8%、「競合他社が値上げしていない」と「価格交渉をしたが応じてもらえなかった」が同率の10.3%、「価格交渉のノウハウがない」と「自社の努力でコストの吸収が可能と判断した」が同率の6.4%、「価格交渉自体を断られた」が2.6%という結果になりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より「立場上、価格交渉がしづらい」が8.5%高く24.5%、「価格交渉のノウハウがない」と「自社の努力でコストの吸収が可能と判断した」がともに3.5%高く7.5%、「値上げすると売れなくなる」が2.2%高く30.2%です。30人以上は30人未満より「競合

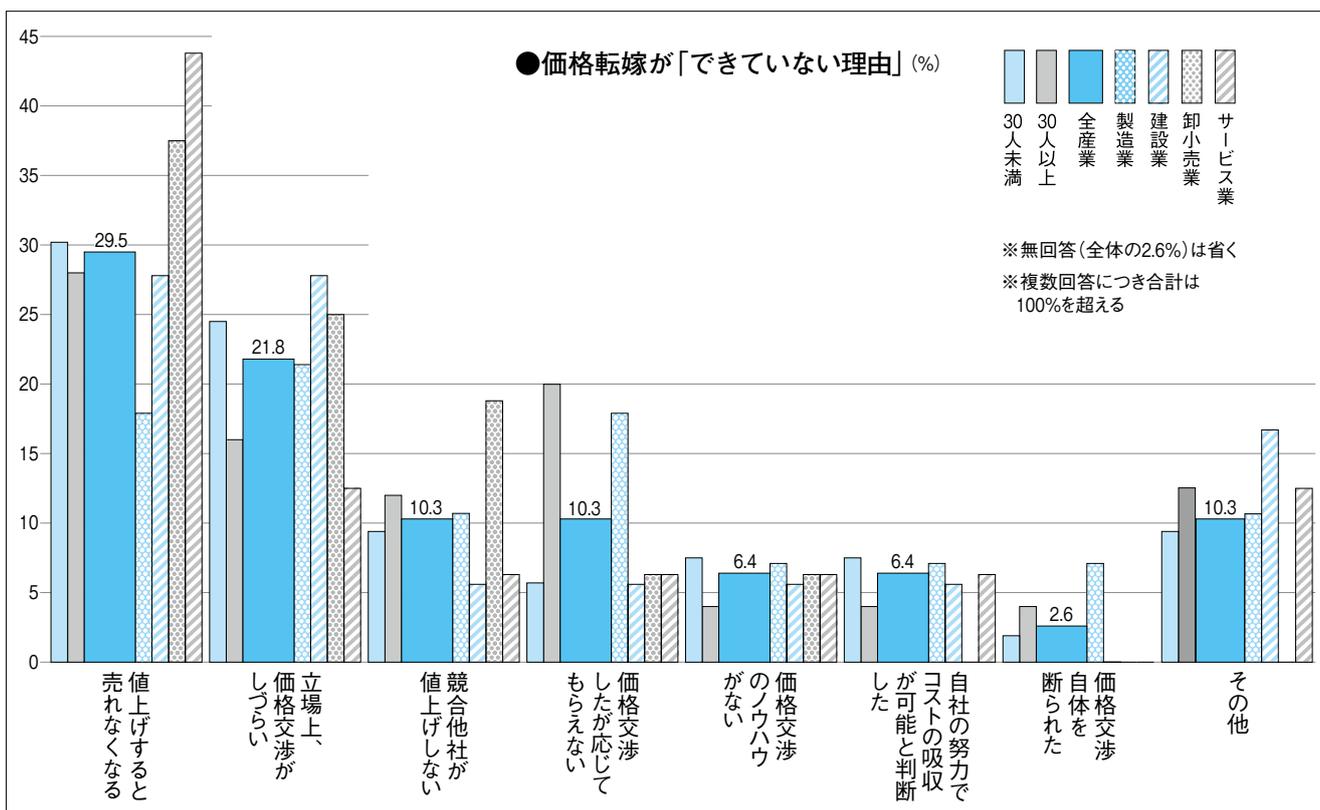
他社が値上げしていない」が2.6%高く12.0%、「価格交渉をしたが応じてもらえなかった」が14.3%高く20.0%となっています。

業種別

**製造業** 「価格交渉をしたが応じてもらえなかった」(17.9%)、「価格交渉自体を断られた」(7.1%)、「価格交渉のノウハウがない」(7.1%)は4業種の中で最も高く、他方「値上げすると売れなくなる」(17.9%)は4業種の中で最も低くなっています。

**建設業** 「立場上、価格交渉がしづらい」(27.8%)、「自社の努力でコストの吸収が可能と判断した」(11.1%)は4業種の中で最も高く、他方「競合他社が値上げしていない」、「価格交渉をしたが応じてもらえなかった」、「価格交渉のノウハウがない」(いずれも5.6%)、「価格交渉自体を断られた」(0.0%)は、4業種の中で最も低くなっています。

**卸小売業** 「競合他社が値上げしていない」(18.8



%)は4業種の中で最も高く、他方「自社の努力でコストの吸収が可能と判断した」、「価格交渉自体を断られた」(いずれも0.0%)は4業種の中で最も低くなっています。

**サービス業** 「値上げすると売れなくなる」(43.8%)は4業種の中で最も高く、他方「立場上、価格交渉がしづらい」(12.5%)、「価格交渉自体を断られた」(0.0%)は4業種の中で最も低くなっています。

## 価格転嫁以外で「コスト増の対策」

「価格転嫁以外でコスト増に対してとった対策は何か」を聞きました。

「省エネに努めた」(30.7%)がトップで、以下「生産性を向上させた」(28.3%)、「残業減などで労務費を減らした」(22.2%)、「調達先を変更した」(17.9%)、「製品の量や仕様を変更した」(10.8%)、「原材料を変更した」(10.4%)、「デジタル化、DX化を進めた」(7.5%)となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より「製品の量や仕様を変更した」が5.3<sup>割</sup>高く12.3%、「原材料を変更した」が4.6<sup>割</sup>高く11.6%です。30人以上は30人未満より「生産性を向上させた」が14.1<sup>割</sup>高く38.6%、「デジタル化、DX化を進めた」が13.6

割<sup>以上</sup>高く17.5%、「残業減などで労務費を減らした」が12.9<sup>割</sup>高く31.6%、「調達先を変更した」が1.9<sup>割</sup>高く19.3%、「省エネに努めた」が1.3<sup>割</sup>高く31.6%となっています。

## 業種別

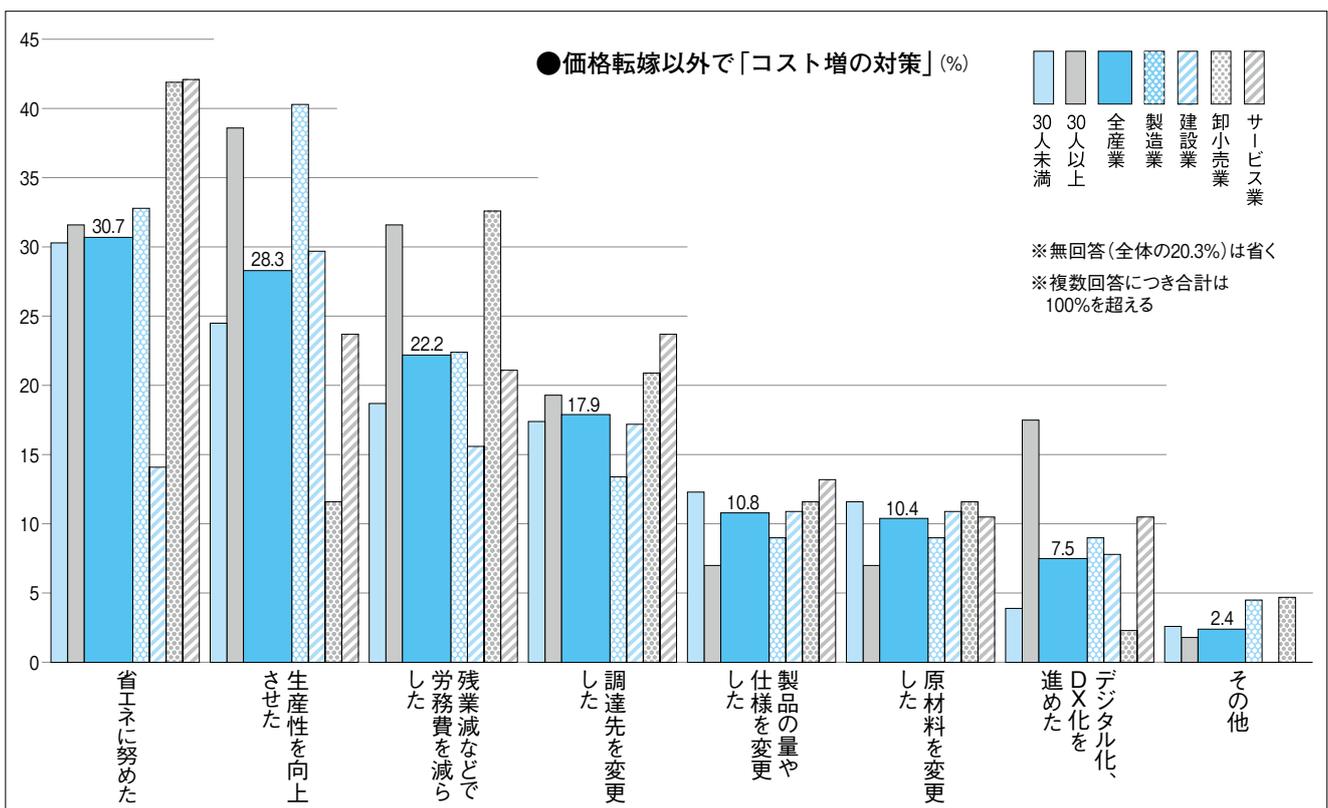
**製造業** 「生産性を向上させた」(40.3%)は4業種の中で最も高く、他方「調達先を変更した」(13.4%)、「原材料を変更した」(9.0%)、「製品の量や仕様を変更した」(9.0%)は4業種の中で最も低くなっています。

**建設業** 「残業減などで労務費を減らした」(15.6%)、「省エネに努めた」(14.1%)は4業種の中で最も低くなっています。

**卸小売業** 「残業減などで労務費を減らした」(32.6%)、「原材料を変更した」(11.6%)は4業種の中で最も高く、他方「生産性を向上させた」(11.6%)、「デジタル化、DX化を進めた」(2.3%)は4業種の中で最も低くなっています。

**サービス業** 「省エネに努めた」(42.1%)、「調達先を変更した」(23.7%)、「製品の量や仕様を変更した」(13.2%)、「デジタル化、DX化を進めた」(10.5%)は4業種の中で最も高くなっています。

◇次号は「イオンモール須坂の開業の影響」を予定。





## 150年の間、深い祈りを おもてなしの心に替えて

株式会社 松屋旅館  
代表取締役 鈴木 昇さん

### ●創業の経緯をお聞きします…

松屋旅館は善光寺に一番近い宿として、仲見世通りの中ほどにある約150年の歴史を持つ和風旅館です。旅館前の“延命地蔵尊”が目印です。

善光寺の本堂は、古くは「如来堂」と呼ばれ、創建から1700(元禄13)年の焼失までの間は、当旅館の場所にありました。その標として如来堂内の瑠璃壇(ご本尊・善光寺如来さまをご安置した壇)の位置に、1712(正徳2)年に延命地蔵尊が造立されたのです。

当旅館の創業は具体的には分かりませんが、我が家の“過去帳”を見ますと明治初期ではないかと思われます。現在の本堂が1707(宝永4)年に再建された後、参拝者が徐々に増えていき、それとともに商売を行う露店も増えていき、当旅館が現在地に創業したとされています。そして、1950(昭和25)年に法人になり、私で6代目になります。

### ●社長になられた経緯をお聞きします…

私は将来、家業を継ぐという思いはありましたが、大学を卒業した後は東京の企業に就職しました。そして約20年後の2007(平成19)年、43歳になり父も70歳になりましたので、そろそろ手伝わなくてはとの思いから当旅館に入社。当初は前職と全く違う業種でしたから、父の下で旅館業の“いろは”を学びました。

そして、2024(令和6)年に父も87歳になりましたので、私が代表取締役就任しました。

### ●業務の概要をお聞きします…

一般客を受け入れる和風旅館です。50年ほど前には善光寺境内に5軒ほどの旅館がありまし

たが、長野冬季五輪の開催を機に、長野駅周辺に大手のホテルが進出して、善光寺境内の小さな宿は客足も減って廃業してしまい、現在は当旅館のみです。

善光寺には39の宿坊があります。現在は一般のお客様も受入れていますが、昔は「善光寺講」と呼ばれる大人数の参拝者や僧侶のための宿でしたので、当旅館の客層とは住み分けができていました。

当旅館のお客様は、昔と大きく様変わりしました。以前は善光寺へ参拝する日本人のお客様が全体の8割ほどでしたが、数年前からインバウンドのお客様が増加、今は逆転して8割が外国のお客様になりました。長期滞在が多く、当旅館を拠点として戸隠、志賀高原、松本、軽井沢などの観光地を巡っているようです。朝食は約8割の方が利用されますが、夕食は外食で済まされるかコンビニで購入される方がほとんどです。日本旅館ですから食事を楽しんでいただきたいのですが、とても複雑な気持ちです。

順調に宿泊客を受け入れていましたが、コロナ禍になり業績は大きく落ち込むなかで、様々な手だてを考えました。なかなか実現には至らなかった中、「ワーケーション」(仕事“ワーク”と休暇“バケーション”を組み合わせた新しい働き方)のお客様を受け入れようと考え、国の補助金を活用して和室の一部を洋室に改装しました。外国人のお客様が利用しやすいようにという思惑もあったのですが、日本の文化を体験したいのか、意外と和室を好む外国人も多く、和室が満室だから仕方なく洋室を選択されるということもしばしばあるようです。

### ●今後の方針や夢をお聞きします…

昔は、冬季や平日の宿泊客の確保が課題でしたが、嬉しいことに現在はインバウンドで連日満室になっています。しかし、この状況がいつまで続くかは不透明です。ですから、日本人のお客様にもっと来ていただくために、当旅館の魅力である、“善光寺の境内にある日本旅館”を

どのようにアピールしていくかが課題だと思っています。

以前の仲見世は土産店が中心でしたが、観光地化して大きく変わり、土産店が少なくなり食べ歩きができるお店が増えてきました。仲見世では「商盛会」という組織があり、定期的集まってイベントなどのアイデアを出したり、全国



外観



料理

の観光地へ視察に行ったりもしています。その中で、協力しあいながら集客力や接客力などを向上させて今後に活かすとともに、さきほどの“日本旅館”としての魅力を高めていきたいと思っています。



客室



浴室

#### ◆事業の概要

創業 明治初期  
資本金 1,000万円  
代表者 鈴木 昇  
従業員 10名(男3名・女7名)  
業務 旅館業  
事業所 長野市大字元善町484  
URL <https://matsuyaryokan.jp/>

#### ◆沿革

明治初期に善光寺仲見世にて旅館業を創業  
1950(昭和25)年 法人成り  
1989(平成1)年 鈴木俊貞が代表取締役就任  
2024(令和6)年 鈴木昇が代表取締役に就任

# 北信濃の旅人

## (3) 河鍋暁斎 ③

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



河鍋暁斎 (1831~89) は、幕末から明治時代にかけて活躍した絵師です。その北信濃の旅を『暁斎画談』によって紹介します。

慶応元年 (1865)、江戸から信州に入った暁斎は、小布施の高井鴻山宅に滞在して絵を描いた後、善光寺大門町の旅籠、佐渡屋小右衛門方に逗留しました。続いて戸隠に招かれて中院 (現在の中社) の天井絵を描きましたが、その後も引き留められ、8月になってようやく戸隠を去ることができました。

### 戸隠を出る

戸隠を出た暁斎は、門人の留吉とともに、籠の鳥が空にはばたくような気分で、走るようにして先を急ぎました。すでに秋の半ばになっていたの、戸隠に参詣する人も少なく、善光寺方面から登ってくる人もほとんどありません。見えるもの

は一面の秋の景色、聞こえるものは梢を渡る風の音と、谷川を流れる水の音ばかりです。そうした中を、ススキの生い茂った九十九折の道を下っていきました。

### 狼に出会う

善光寺の申の方角 (西南西) には、「善光寺の御花山」と呼ばれる朝日山 (旭山) があります。ここには山城跡があって、朝日山右近という武将の居城だったという伝説があります。

暁斎と留吉は、いつしかその朝日山に足を踏み入れていました。曲がりくねった山の中の細道を行き、曲がり角でふと前方を見ると、向こうから一匹の獣がやって来ます。その目は丸くて金色に輝き、口は耳まで裂け、体は骨太で、体毛は針のようです。これこそ自分がこれまで何度も描いてきた狼と気づいた暁斎は、はっと驚くとともに、膝がガタ



北村屋で酒宴をする河鍋暁斎の一行 (『暁斎画談』外編巻之二)

ガタと震え出しました。それは留吉も同様で、逃げようとしても足が動きません。

そこは片側が崖になった細道です。留吉は足を踏み外して、谷に転げ落ちました。同時に暁斎も、「キャッ」と叫んで谷に落ちます。一方の狼も、出合い頭がしらに人間にばったり出会って驚いたのか、

向きを変えて逃げて行ってしまったようです。

谷に落ちた2人は、木の根や草の蔓つるにすがって、やっとのことで道に這い上がりました。あたりをきょろきょろ見回しますが、すでに狼の姿はないようです。でも、いつまた狼が姿を現すかわかりません。恐怖心に駆られながら、人家を探して、2人は道を急いだのでした。

#### 実際は大峰山か

『暁斎画談』はこのように、暁斎たちが「善光寺の御花山」の「朝日山」で狼に出会ったと書いています。朝日山(旭山)は長野県庁の西北西にそびえる標高785mの山ですが、善光寺と戸隠を結ぶ戸隠街道沿いではないので、地理的に不自然です。「善光寺の御花山」は、朝日山(旭山)の他に大峰山(標高828m)がありました。戸隠街道はこの山の脇を通っているので、暁斎たちが狼に出会った山は、実際は大峰山かもしれません。

#### 姨捨山の月見

善光寺街道の稲荷山宿(千曲市稲荷山)の油屋五郎右衛門という人は風流人で、ことに絵の趣味を持っていました。8月15日の中秋の名月の日、この人が仲間5人とともに、姨捨山の月見に暁斎と留吉を誘いました。

暁斎は、四十八枚田に映る田毎の月を実際に見て絵に描きたいという願いをひそかに持っていたのですが、8月ではそれがかなわなかったのは当然です。しかし鏡台山に上った鏡のような月を見た



長野市大門町から見た旭山(朝日山)。河鍋暁斎と留吉はこの山で狼に出会ったという

時は、絵を描くことに苦しんでいる自分の胸の中を照らされているような気がして、夢中になってその情景を写し取りました。

それが終わると一行は、用意してきた酒と肴で宴を催しつつ、詩歌を作ったり、唄を歌ったりして名月を楽しみました。

そのうちに誰かが、「暁斎先生が帰京されるのだから、これからすぐに善光寺町へ行って、にぎやかに送別の宴を催そう」と言い出したので、油屋五郎右衛門をはじめ一同は、「それはいい」と賛同しました。

#### 善光寺町の割烹店北村屋

それから一同は善光寺に向かって歩き始め、歩きながら杯をやり取りします。酒の瓢箪ひょうたんが空になると、酒屋を見つけて瓢箪を満たし、酔いが回るにつれてますます盛り上がりながら道を急いで、夜半過ぎには善光寺町に到着しました。

やって来たのは、この町で一番といわれる割烹店北村屋忠右衛門方です。すでに寝ているのをたたき起こして店を開けさせ、席に着いたものの、長い道を歩いてきた疲れと酔いで、皆そのまま寝入ってしまいました。

翌朝あらためて飲み始めた一同は、「この町にいるだけの芸者を呼んでこい」と叫んで、その日の夕方まで大騒ぎをしました。この割烹店北村屋は、裏権堂にあった料理屋です。

7月号は「弥次郎兵衛と喜多八」①の予定です。

◆物価上昇の影響を「抑える対策」

「余計なものを買わない」6割 「安く買える店で買う」4割強 「セール(特売日)の時に買う」3割

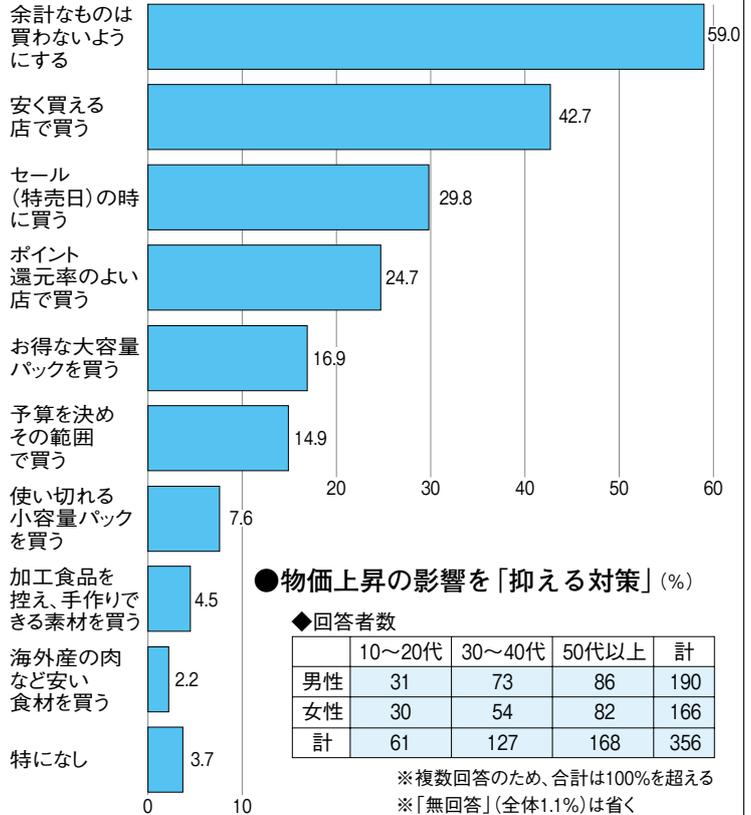
「食品の買い物等の際、物価高上昇の影響を抑える対策を何かしているか」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、1位は「余計なものは買わないようにする」で59.0%、2位は「安く買える店で買う」で42.7%、3位は「セール(特売日)の時に買う」で29.8%となりました。なお、全体の96.3%の人が何らかの対策を講じており、関心の高さが見て取れる結果となりました。

男女別で1～3位を見ると、男性、女性ともに全体と同様になっています。

世代別で見ても全体と同様の順位となりましたが、1位の「余計なものは買わないようにする」については、10～20代が7割、50代以上が6割、30～40代が5割と差が見られる結果となりました。

〈当金庫・2025年3月調査〉



◆回答者数

	10～20代	30～40代	50代以上	計
男性	31	73	86	190
女性	30	54	82	166
計	61	127	168	356

※複数回答のため、合計は100%を超える  
※「無回答」(全体1.1%)は省く

●みなさまの税務相談のご案内 [7月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
7月 2日 水	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	7月 16日 水	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
4日 金	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	18日 金	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)
8日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	23日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
9日 水	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	24日 木	本店営業部	
11日 金	大豆島支店 (長池支店)		29日 火	本部	
14日 月	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	30日 水	本部	

